



「学力向上」の阻害要因



今学期のテーマは、「学力向上」です。

3年生は、今週月曜日から私立高校の入試が始まりました。当然、3年生は合格を目指して、受験勉強をがんばってくれているものと思います。

毎月、いじめ対策も含めて、生活アンケートを実施し、悩みなどについて自己申告をしてもらっています。今月は、1月10日（水）に、この生活アンケートを実施しました。今回は、家庭学習時間と携帯・スマホの使用時間調査も行いました。

結果、平常日の家庭学習時間の平均と、携帯・スマホの使用時間の平均は、次のとおりでした。なお、集計は数学的な処理を行っていますので、概数となります。

	家庭学習時間	携帯・スマホ
1年生	1時間07分	1時間57分
2年生	1時間03分	2時間29分
3年生	2時間29分	1時間44分

生徒には、「この30日間に、あなたは学校のある日に1日平均どのくらいの時間、パソコン、携帯、スマートフォン、ゲーム機等を利用しましたか?」と尋ねておりますので、パソコンの中には、毎日持って帰ってもらっているクロムブックが含まれているのかもしれませんが。

これは前々回(学校だより47号)、お示した学校評価の家庭学習の習慣化(1年生45%、2年生42%、3年生70%)と、同様の結果を示しているように思えます(1、2年生と3年生の差)。相対度数表で割合を示します。

(単位: %)

	1年	2年	3年
まったくしない	12.9	12.9	2.4
1時間未満	38.7	38.7	9.8
1~2時間未満	32.3	35.6	24.4
2~3時間未満	12.9	12.9	41.5
3~5時間未満	3.2	0	14.6
5時間以上	0	0	7.3

さまざまご家庭の事情がありますので、一概には言えないところもあります。相対度数表を見ると、きちんと家庭学習に取り組んでいる生徒も、1、2年生の中にはおります。大切なことは、「習慣」をつけることだと考えています。規則正しい生活リズムは、頭を鍛え、心を育て、からだを休めることにもつながります。特に、「睡眠」と「記憶」には重要な関係があります。睡眠の重要な働きに「記憶の固定」があります。記憶の固定とは、日中に記憶したこと(学習や経験)を忘れないように脳に定着させることです。就寝後に浅い睡眠であったり、睡眠時間が短いと、「記憶」に大きな影響が出るそうです。詳しいことは、「レム睡眠」と「ノンレム睡眠」について、ネットなどで調べられてみてください。

また、左の表は「平常日」の家庭学習時間の平均と、携帯・スマホの使用時間の平均でした。子どもたちにとって、もっと時間が自由になる「休日」は、次のようになります。

	家庭学習時間	携帯・スマホ
1年生	1時間23分	2時間51分
2年生	1時間14分	3時間31分
3年生	3時間29分	2時間20分

1、2年生は、家庭学習がそれぞれ+16分、+11分に対して、携帯・スマホの使用時間はそれぞれ+54分、+62分となっています。3年生は、家庭学習が+60分に対して、携帯・スマホは+36分となっていました。

ご家庭のことは、我々、教員が把握できないところです。こういった数値よりも、保護者の皆様がより、自分のお子様の実態については把握されておられることと思います。

今、受験勉強に一生懸命取り組んでいる3年生も1、2年生の頃は、こういった実態だったのかもしれませんが。3年生になってからがんばることも大切なことです。しかし、1、2年生の「家庭学習の習慣化」がスムーズに3年生になってからの受験勉強に移行できるのではないかと思います。

学校と家庭がいっしょの方向を向いて、1人1人の生徒の「学力向上」を考えることが大切なことだと考えおります。